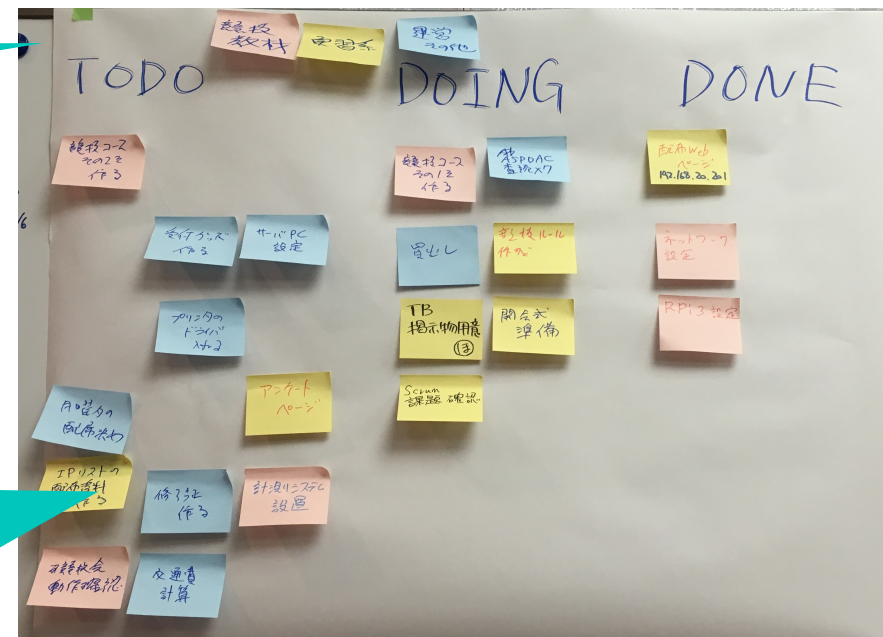


課題：チームオリジナルのタスクボードを作ろう

- タスクボード
 - 開発におけるチーム全体の進捗を管理、見える化をするためのツール
 - 事前テキスト10P~を参照

昨日の準備で
使ったタスクボード

- タスクは付箋に書き込み
- 各タスクをジャンルごとに色分け



どんな感じで作ればいい?? (今年の例)



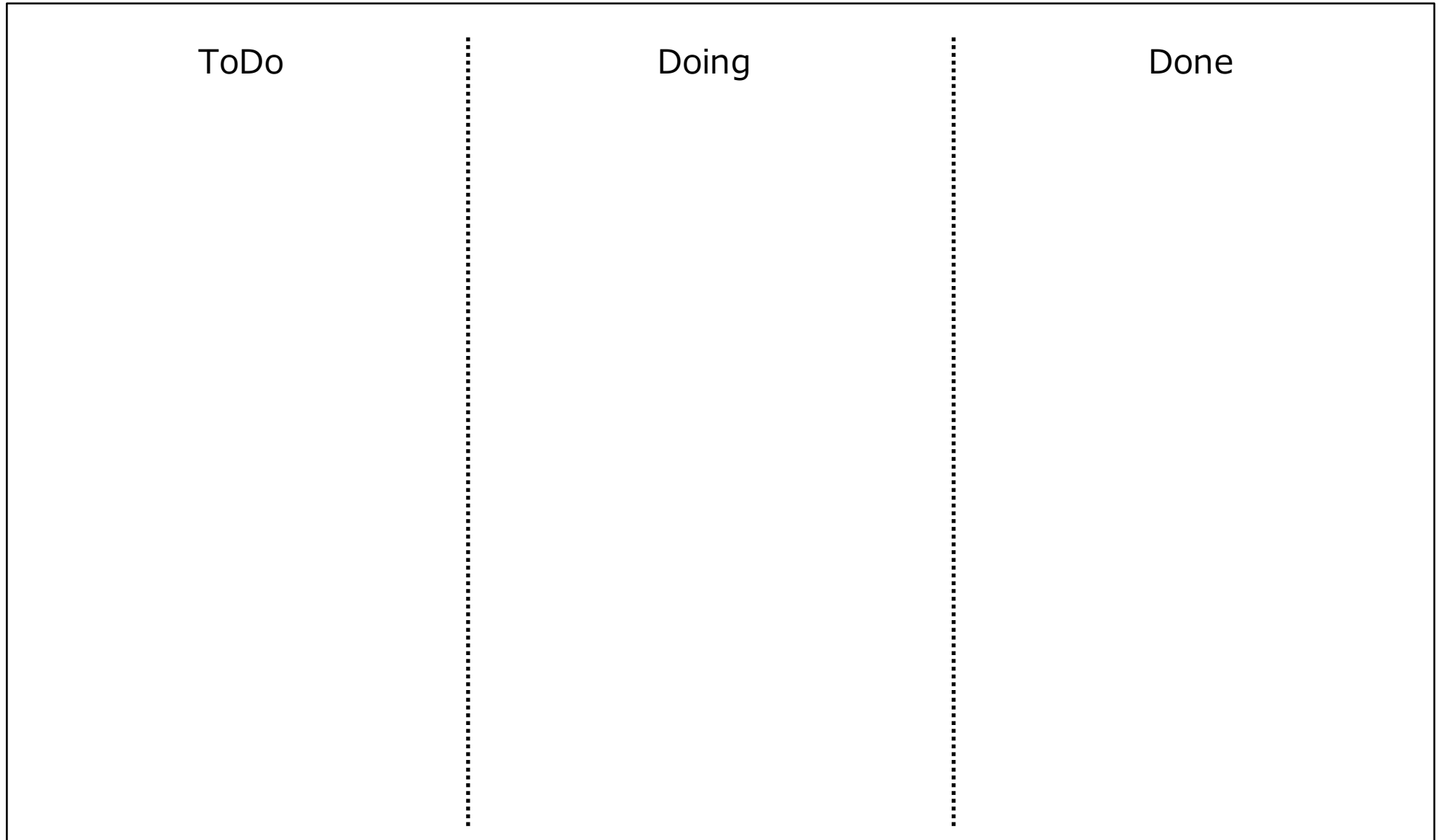
目標

- 最終目標
 - チームオリジナルのタスクボードをつくろう
- スプリント1の目標
 - なにを作るか決めよう
 - かんばんの組み立て方を決めよう
- スプリント2の目標
 - 実際にかんばんをつくろう
 - かんばんに貼る各ツールの配置を決めよう

使える材料・道具

- 材料
 - ダンボール板（1枚/チーム）
 - 模造紙
 - ガムテープ
 - 付箋
 - （印刷物：頼めばOK）
- 道具
 - プロッキー
 - カッター
- その他使えそうなもの（壊さない・汚さない）

仮のタスクボード（最初に渡す）



チケット

- プロダクトバックログアイテム用チケット

<input type="text"/>	価値 :
	見積り :

- スプリントバックログのタスク用チケット

<input type="text"/>	担当 :
見積り :	DoD :

ポイント

- 事前に渡したタスクボードと、チケットの改善点はないだろうか？
- 自分たちのチームがうまくScrumを回すために最適なツールにするためにはどうすればよいか
- バックログアイテム・タスク切り分けには正解はありません
 - チーム内で最適な切り分け方をしましょう！

スプリントの流れ：1スプリント30分

5	スプリントプランニング (スプリント計画ミーティング)
1	デイリースクラム
9	実装
1	デイリースクラム
9	実装
2	スプリントレビュー
3	スプリントレトロスペクティブ (ふりかえり)

- スプリントプランニング (5分)
 - プロダクトバックログから
スプリントバックログを開発
 - デイリースクラム (~1分) ×2
 - 進捗報告、タスクの担当割り当て
 - 実装 (9分) ×2
 - タスクの実装
 - スプリントレビュー (2分)
 - 完了の確認
 - プロダクトバックログ項目の達成確認
 - スプリントレトロスペクティブ (3分)
 - ふりかえり：KPT
- * 各タイムボックスは固定です